

容器入り次亜塩素酸水に注意！

次亜塩素酸水は光で分解します

下図のように、次亜塩素酸水（60ppm弱）を容器に入れて室内に置いた場合、有効塩素濃度は時間とともに低下していきますが、そのスピードは容器の種類によって大きく異なります。透明ペットボトルでは約1週間、乳白色プラスチックボトルでは約2週間で数ppmに低下します。一方、アルミ箔で遮光した場合は2週間後も30ppm以上残存します。

最近、次亜塩素酸水（二液混合など）と称して店頭販売されているものが非常に多く出回っていますが、購入者が濃度チェックできないことが大きな問題です。特に、製造日と使用期限の記載がない商品は要注意です。そのような商品の中には有効塩素濃度が数ppmしかない、すなわち殺菌力を期待できないものがかかり含まれているようです。

